

## ・海外感染症流行情報 2022年10月

### (1) 全世界: 新型コロナウイルス流行状況

10月になり世界的には新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にあります(WHO Corona virus disease 2022-10-19)。国別ではドイツ、フランス、イタリア、シンガポールなどで感染者数が増加しています。シンガポールでは XBB と呼ばれるオミكرون株 BA.2 の派生型が流行しており、米国やヨーロッパでは BA.5 の派生型である QS.1 が少しずつ増加しています。今後、北半球の冬の到来とともに、感染者数の再増加が予測されており、十分な注意が必要です。

日本では 10月から水際対策が大幅に緩和されており、ワクチン接種を 3回受けていれば、入国時に新型コロナの陰性証明書を提出する必要がなくなりました。詳細は検疫所のホームページをご参照ください。[検疫措置の詳細について \(forth.go.jp\)](https://www.forth.go.jp) なお、外務省は空港での海外在留邦人向けのワクチン接種を継続しています。[外務省 海外安全ホームページ | 日本での新型コロナウイルス・ワクチン接種を希望する海外在留邦人等の皆様へのお知らせ \(mofa.go.jp\)](https://www.mofa.go.jp/oc/na/naa/2022/10/03_01.html)

### (2) 全世界: 季節性インフルエンザの流行状況

10月は世界的にインフルエンザの流行状況が低いレベルにあります(WHO Influenza 22-10-17)。南半球では南アフリカやアルゼンチンで感染者数がやや増えています。北半球の北米、ヨーロッパ、東アジアでは感染者数の増加がまだ見られていません。

### (3) アジア: アジアで Dengue 熱の流行拡大

東南アジアでは Dengue 熱患者の発生が例年になく多くなっています(WHO 西太平洋 22-10-6)。ベトナムでは今年の累積数が 25万人と昨年の4倍以上で、ホーチミンでは6万人以上に達しました(Outbreak News Today 22-10-18)。フィリピンでも累積数が昨年の3倍近くの17万人で、マニラでは2万人近い患者が確認されています(Outbreak News Today 22-10-14)。

南アジアでも Dengue 熱患者の増加が報告されています。ネパールではカトマンズのあるバグマチ州を中心に増加しており、9月末までに3万人近くの患者が確認されました(WHO 22-10-10)。パキスタンでも水害の影響により、シンド州などで Dengue 熱患者が増加しており、9月末までに2万人以上の患者が

発生しました(WHO 22-10-13)。パキスタンでは三日熱マラリア患者も増加しており、8月までに340万人と例年を大幅に上回る数になっています(WHO 22-10-17)。現地滞在中は蚊に刺されない対策を十分にとってください。

#### **(4) アジア: ベトナムと中国で鳥インフルエンザ患者が発生**

ベトナム北部のフート省で、10月初旬に5歳の女児が H5型の鳥インフルエンザを発症し、重体になっています(Outbreak News Today 22-10-20)。同国では 2003 年から 128 人の H5N1 型の鳥インフルエンザ患者が発生していましたが、今回の事例は 2014 年以來の患者発生になります。中国南部の広西自治区では、9月初旬に3歳男児が H5N6 型の鳥インフルエンザを発症しました(香港保健局 22-10-21)。同国で 81 人目の事例になります。

#### **(5) アジア: ベトナムで狂犬病患者が増加**

ベトナムでは今年になり8月までに40人の狂犬病患者が発生しています(Outbreak News Today 22-9-28)。同国では 2011 年以降、患者数が減少していましたが、2017 年から再び増加傾向になっています。ベトナムに長期滞在する前には、狂犬病ワクチンの接種を受けておくことを推奨します。

#### **(6) アフリカ: ウガンダでエボラ熱の流行拡大**

東アフリカのウガンダで、9月から発生していたエボラ熱の流行が拡大しています(ヨーロッパ CDC 22-10-21)。患者数は 10 月中旬までに 64 人となり、25 人が死亡しました。これ以外に 20 人以上の疑い患者が発生しています。患者発生は同国中央部のムベンデで始まりましたが、周辺の地域に拡大しており、首都カンパラでも 5 人の患者が確認されています(Outbreak News Today 22-10-23)。